

事前評価個表

整理番号	14
------	----

地域（地区）名	津軽 ^{つがる} 地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	青森県	対象市町村	弘前市ほか10市町
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>津軽地域は、青森県の中央部にそびえる八甲田山系の西側から、南西部の白神山地に囲まれた地域に位置し、秋田県境を水源とする岩木川によって津軽平野を形成している。</p> <p>本地域の総面積335,071haのうち森林面積は213,102ha（森林率64%）であり、国有林がそのうち75%の159,953ha、民有林が25%の53,149haとなっている。</p> <p>民有林のうち人工林は28,986ha（55%）で、そのうちスギが21,849haと人工林の75%を占めており、8 齢級をピークとした齢級配置となっている。</p> <p>しかしながら、木材価格の低迷等による間伐の遅れから、樹木の生育不良や林床植生の衰退が見られ、間伐を中心とした森林整備が必要となっている。</p> <p>よって、齢級構成に応じた森林整備を推進し、水源かん養、土砂流出防止、地球温暖化防止のための二酸化炭素吸収等、森林の持つ公益的機能を発揮させると共に、間伐材の利用をとおして森林・林業・木材産業の振興に寄与し、資源循環型社会の構築を目指すものである。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：4,595ha 人工造林、樹下植栽等、下刈り、枝打、間伐等</p> <p>総事業費：1,199,040千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 6.67 (総便益(B) = 11,183,172千円、総費用(C) = 1,676,137千円)</p>
評価結果	<p>必要性：森林整備が必要な森林が多く存在することから、森林の公益的機能を高めるためにも事業実施は必要不可欠である。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：森林資源の有効活用の観点、併せて森林整備による水源かん養、土砂流出防備、また多様な森づくりによる生物多様性等公益的機能の維持増進の観点から有効である。</p> <p>本計画では、森林の多面的機能を発揮するために必要な森林整備が適切に計画されている。また、効率性、有効性も認められることから、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

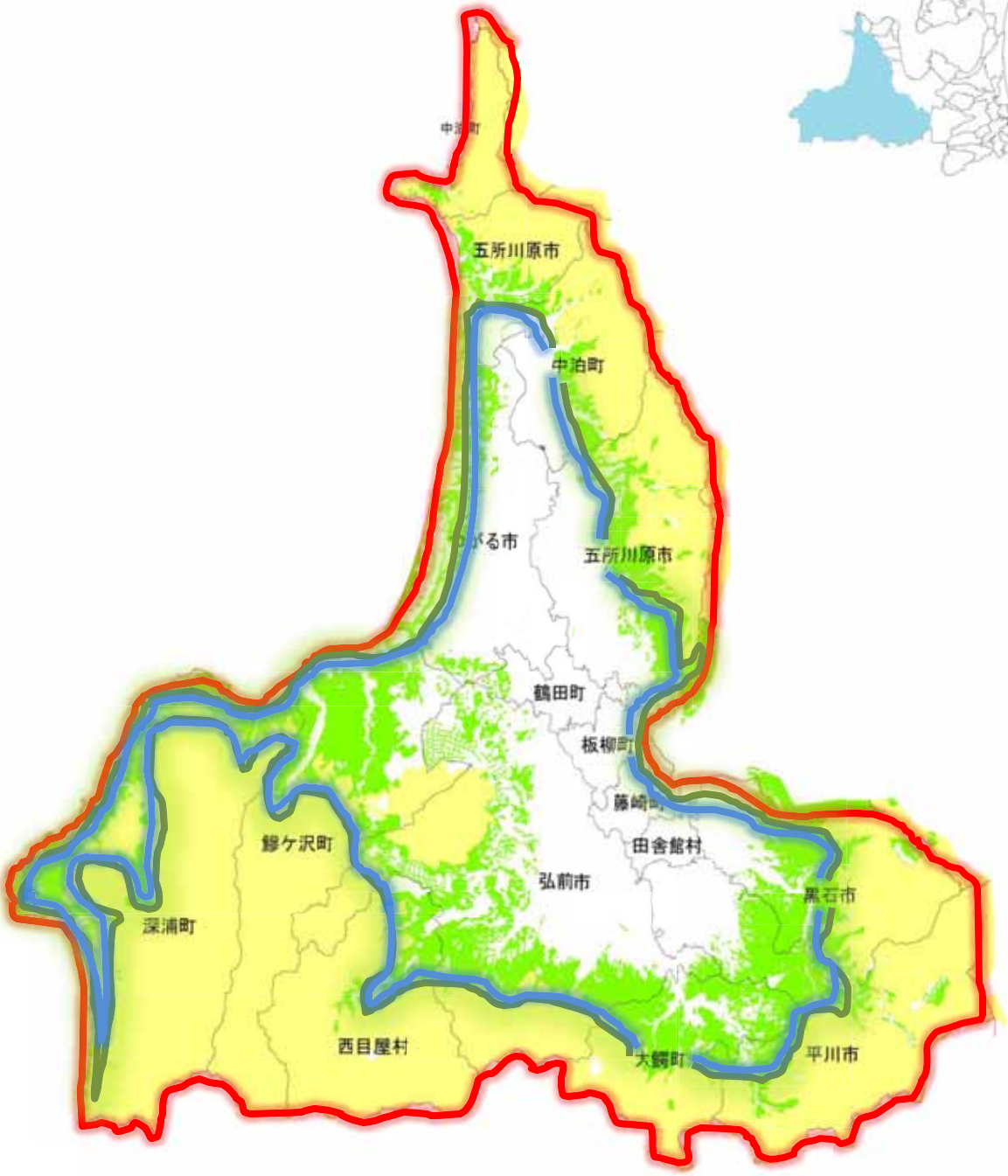
事業名: 森林環境保全整備事業
 地域名: 津軽

青森県
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	3,129,366	
	流域貯水便益	868,207	
	水質浄化便益	1,482,208	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,552,536	
	土砂崩壊防止便益	15,962	
環境保全便益	炭素固定便益	814,148	
木材生産便益	木材生産確保・増進便益	1,320,746	
総 便 益 (B)		11,183,172	
総 費 用 (C)		1,676,137	
費用便益比	$B \div C = \frac{11,183,172}{1,676,137} = 6.67$		

森林環境保全整備事業 津軽地域(青森県) 概要図

青森県内での位置



計画区域	
事業区域	
森林整備	